

# 2008春季生活闘争

## J R 連合 F A X ニュース No. 7

2008年 2月12日

日本鉄道労働組合連合会

### ベア3000円、夏季手当3.1ヶ月分の要求決定 さらなる組織拡大と民主化完遂へ意思を固める！

#### - JR東日本ユニオン第3回定期中央委員会 -

JR東日本ユニオンは2月9日、東京都・総評会館において、第3回定期中央委員会を開催し、安全指針の具体化、民主化闘争完遂、2008春季生活闘争勝利、来るべき総選挙勝利、を柱とする当面する活動方針を決定した。昨夏の大会以降、15名の組織拡大が進む中で、熱気あふれる前向きな委員会となった。

執行部を代表して今井委員長は、まず2008春季生活闘争について触れ、JR連合統一要求に基づき全力で闘う決意を明らかにした。さらに民主化闘争については、「(今日の情勢は)一年前には予想できなかったことであり、皆が取り組んできた成果だ。しかし、(労務政策は東労組)偏重から主軸へと変わっただけであり、『革マル派の完全追放』『不当労働行為・不法行為の点検摘発』『組織拡大』の取り組みを強め闘いを展開しよう」「『被害者救済』『安全確立と信頼される職場づくり運動』をあらゆる社員に呼びかけ新しい労使関係の結集軸をつくり、大多数が賛同する健全な受け皿を構築しよう」と、主体的な運動の推進を訴えた。

質疑では10名が発言し、この間の組織拡大の成果を確認する一方で、各委員からは、さらなる拡大への戦略、拡大の進んでいない地本の決意が披瀝され、勢いのある討議となった。庄司事務局長は集約答弁で、「民主化闘争は新たな段階に入った。我々は『平和共存否定』と対峙する『被害者救済』『信頼づくり』の当り前の運動を進める。現下の情勢を活かして、最大の好機に会社と東労組との労使関係に決定的なクサビを打ち込み、民主化の流れを奔流とすべく全力をあげよう」と提起した。

また、新規加入者の紹介と決意表明も行われ、民主化完遂へさらに前進する決意を固めあった。